

令和 1 年度事業評価シート

No.1

PLAN(計画)

自己評価

事務事業番号	76
--------	----

事業区分	一般ソフト事業	事務事業評価の履歴 有				
事務事業名	広報紙発行事業					
予算科目	2 款 1 項 2 目					
予算事業名	広報費					
総合計画での位置づけ	まちづくりを共有できる情報発信・町民参加機会の拡大					
担当課	魅力づくり推進課	担当課長	川上 克彦			
事業担当者	山崎 千晴	一次評価者	西村 勝			
事業の性格	自治事務					
法令根拠等	-					
事業の対象	町民・町内事業所					
事業の目的	行政情報を分かりやすく、迅速かつ正確に町民および町内事業所に提供し、町政への理解と参画意識の醸成を図る。					
実施期間	開始年度	平成	年度から			
	終了年度	令和	年度まで			
事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> ○広報紙名 広報ひさやま ○発行時期 毎月1回、月末発行 ○サイズ A4版 ○ページ 16~28ページ ○発行部数 3,200部(9月号以降 3,250部) 					
目的達成の指標	広報紙の配付率(単位:%)					
	区分年度	単位	0 年度	1 年度	2 年度	3年度
	目 標	%	99	99	99	99
	実 績	%	99	99		
指標設定の考え方	町の情報を提供、発行した広報紙を手にとってもらう必要があるため、発行分のうち何%が人の手に渡ったかを成果指標とする。					
事業遂行時懸案事項等	情報発信媒体として、分かりやすく、読みやすい工夫をしていく必要がある。また、町外にお住まいの方々へ、町の魅力を発信するためのツールとしても、引き続き活用方法を検討していく必要があると考えられる。					
事業実施時懸案事項対応等	業務委託を行い、色使いやユニバーサルデザインフォント、文字の大きさに等に配慮した読みやすい紙面づくりを心がける。また、久山町の広報紙でしか伝えることのできない情報を発信し、町の魅力発信に寄与する。					

PLAN(計画)

事務量及び財政内訳

町民一人当たり負担額 543 円

※負担額には国費・県費は含まれていません。(千円)

項 目		30 年度予算	1 年度予算	2 年度予算	3 年度予算
事務量	① 人工数	0.20	0.20	0.20	0.20
	② 人件費単価	7,350	7,555	7,137	7,137
	③ 補助事業人件費				
	人件費(①×②-③)	1,470	1,511	1,427	1,427
事業費	直接事業費	3,558	3,543	3,756	3,756
	人件費	1,470	1,511	1,427	1,427
	合 計	5,028	5,054	5,183	5,183
財源内訳	国庫支出金	181	183	178	178
	県支出金				
	地 方 債				
	そ の 他				
	一 般 財 源	4,847	4,871	5,005	5,005
	合 計	5,028	5,054	5,183	5,183

事業費計画

(千円)

区分/年度	30 年度	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度
目 標	3,558	3,543	3,756	3,756	1,150
実 績	3,465	3,450			

事業活動の実績(活動指標)

※ 上段には目標値を、下段には実績値をそれぞれ記入してください。

項目	単位	30 年度	1 年度	2 年度	3 年度
Townnews(町の話題)の掲載数	回		40	40	40
ひと月当たりの紙面の平均校正回数	回		6	6	6
広報紙発行月数	月		12	12	12
広報紙のホームページ・Facebook公開月数	月		12	12	12
※令和元年度から指標の見直しを実施					

DO(実施)

事務量及び財政内訳

町民一人当たり負担額 540 円

※負担額には国費・県費は含まれていません。(千円)

項 目		30 年度決算	1 年度予算	1 年度決算	
事務量	① 人工数	0.20	0.20	0.20	
	② 人件費単価	7,187	7,555	7,891	
	③ 補助事業人件費		0		
	人件費(①×②-③)	1,437	1,511	1,578	
事業費	直接事業費	3,465	3,409	3,450	
	人件費	1,437	1,511	1,578	
	合 計	4,902	4,920	5,028	
財源内訳	国庫支出金	187	183	192	
	県支出金		0		
	地 方 債		0		
	そ の 他		0		
	一 般 財 源	4,715	4,737	4,836	
	合 計	4,902	4,920	5,028	

実施備忘録

自己評価	評価者	山崎 千晴
------	-----	-------

5段階評価で評点を付けます。
5 大 ←→ 小 1 ↓

1. そもそも必要な事業か？	評点	判定
<input checked="" type="checkbox"/> 町民のニーズが高い。ニーズが増加傾向である。	4	B
<input checked="" type="checkbox"/> 緊急性が高く、即時に実施しなければならない。	4	
<input checked="" type="checkbox"/> 実施しなければ町民生活に及ぼす影響が大きい。	4	
<input checked="" type="checkbox"/> 町民生活や町のイメージアップの向上に寄与する。	4	
2. 町が実施する必要があるか？		
<input type="checkbox"/> 町が実施主体となることが法令等により定められている ※該当する場合は左の口にチェックしてください。		B
<input checked="" type="checkbox"/> 公権力行使、あるいは政策判断を伴い、民間等では実施できない。	3	
<input checked="" type="checkbox"/> 民間等や国・県で実施するよりも効果的である。	4	
<input checked="" type="checkbox"/> 民間等あるいは国や県で類似事業を実施していない。	3	
3. 実施内容は適切か？		
①有効性		B
<input checked="" type="checkbox"/> 久山町総合計画基本計画の将来計画を実現するために有効な事業である。	3	
<input checked="" type="checkbox"/> 事業の手法・活動内容は適切である。	3	
<input checked="" type="checkbox"/> 事業の成果達成状況や進捗状況は順調である。	4	
②効率性		B
<input checked="" type="checkbox"/> 事業費に見合った成果を上げている。	3	
<input checked="" type="checkbox"/> 外部委託等(指定管理者を含む)による効率化が図られている。	4	
<input checked="" type="checkbox"/> 実施方法の工夫により効果を維持しながらコスト削減を図っている。	3	
③公平性・透明性		C
<input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担について課題はない。(または、受益者負担を求めることが適当でない。)	3	
<input checked="" type="checkbox"/> 事業費に占める一般財源の額は妥当である。	3	
<input checked="" type="checkbox"/> 必要性という点では、広報紙の主な役割は、町内にお住まいの方々に対して日々の生活	3	

今後の方向性	見直しの具体的内容
<input type="checkbox"/> A重点化	<input type="checkbox"/> 実施方法の工夫
<input type="checkbox"/> B現状のまま維持	<input type="checkbox"/> 事業の効率化
<input type="checkbox"/> C見直し	<input type="checkbox"/> 受益者負担の適正化
<input type="checkbox"/> D廃止	<input type="checkbox"/> 事業縮小
<input type="checkbox"/> E事業完了	<input type="checkbox"/> その他

4. 自己評価の理由(必要性、有効性、効率性、公平性・透明性の観点から)

必要性という点では、広報紙の主な役割は、町内にお住まいの方々に対して日々の生活に関わる情報を発信することであり、生活に及ぼす影響が大きいこと、紙媒体の情報発信ツールとして、必要性の高い事業と言える。また、有効性、効率性という点では、業務委託をし、一定のデザイン性を確保したうえで、Townnews(町の話)等久山町の広報紙でしか発信できない情報発信ができており、この事業の有効性等は大きいと考える。なお、広報紙を配付するだけでなく、ホームページやFacebookに公開し、町内外の方々に向けて情報発信ができているため、公平性、透明性がある事業と言える。

5. 成果実績の評価(今後の方向性等について具体的に)と課題認識

広報紙の配付率について、自治会(組合)を通じた配付を行うことにより、その高さを維持している。今後も、配付率を維持するために、組合加入率等を考慮しながら、その方法について検討していく必要がある。

また、行政情報の発信のツールとしては、業務委託を行い制作することで、色使いやユニバーサルデザインフォント、文字の大きさに等に配慮した、分かりやすく、読みやすい紙面づくりを行うことができた。

一方、目標のひとつである、町政への参画意識を醸成する紙面づくりについては、町の情報発信戦略を検討し、情報発信の内容について再検討し、その有効性を高める必要がある。

CHECK(評価)

自己評価を基に基本施策の進捗状況と照らし合わせて評価を行う。

No.4

一次評価	評価者	西村 勝
------	-----	------

5段階評価で評点を付けます。
5 大 ←→ 小 1 ↓

項目	評点	判定
1. そもそも必要な事業か？		
<input checked="" type="checkbox"/> 町民のニーズが高い。ニーズが増加傾向である。	4	B
<input checked="" type="checkbox"/> 緊急性が高く、即時に実施しなければならない。	3	
<input checked="" type="checkbox"/> 実施しなければ町民生活に及ぼす影響が大きい。	4	
<input checked="" type="checkbox"/> 町民生活や町のイメージアップの向上に寄与する。	4	
2. 町が実施する必要があるか？		
<input type="checkbox"/> 町が実施主体となることが法令等により定められている ※該当する場合は左の口にチェックしてください。		
<input checked="" type="checkbox"/> 公権力行使、あるいは政策判断を伴い、民間等では実施できない。	3	B
<input checked="" type="checkbox"/> 民間等や国・県で実施するよりも効果的である。	4	
<input checked="" type="checkbox"/> 民間等あるいは国や県で類似事業を実施していない。	3	
3. 実施内容は適切か？		
①有効性		
<input checked="" type="checkbox"/> 久山町総合計画基本計画の将来計画を実現するために有効な事業である。	3	B
<input checked="" type="checkbox"/> 事業の手法・活動内容は適切である。	3	
<input checked="" type="checkbox"/> 事業の成果達成状況や進捗状況は順調である。	4	
②効率性		
<input checked="" type="checkbox"/> 事業費に見合った成果を上げている。	3	B
<input checked="" type="checkbox"/> 外部委託等(指定管理者を含む)による効率化が図られている。	4	
<input checked="" type="checkbox"/> 実施方法の工夫により効果を維持しながらコスト削減を図っている。	3	
③公平性・透明性		
<input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担について課題はない。(または、受益者負担を求めることが適当でない。)	3	C
<input checked="" type="checkbox"/> 事業費に占める一般財源の額は妥当である。	3	
<input checked="" type="checkbox"/> ホームページや広報を活用し、積極的に情報を公開している。	3	

今後の方向性
<input type="checkbox"/> A重点化
<input type="checkbox"/> B現状のまま維持
<input type="checkbox"/> C見直し
<input type="checkbox"/> D廃止
<input type="checkbox"/> E事業完了

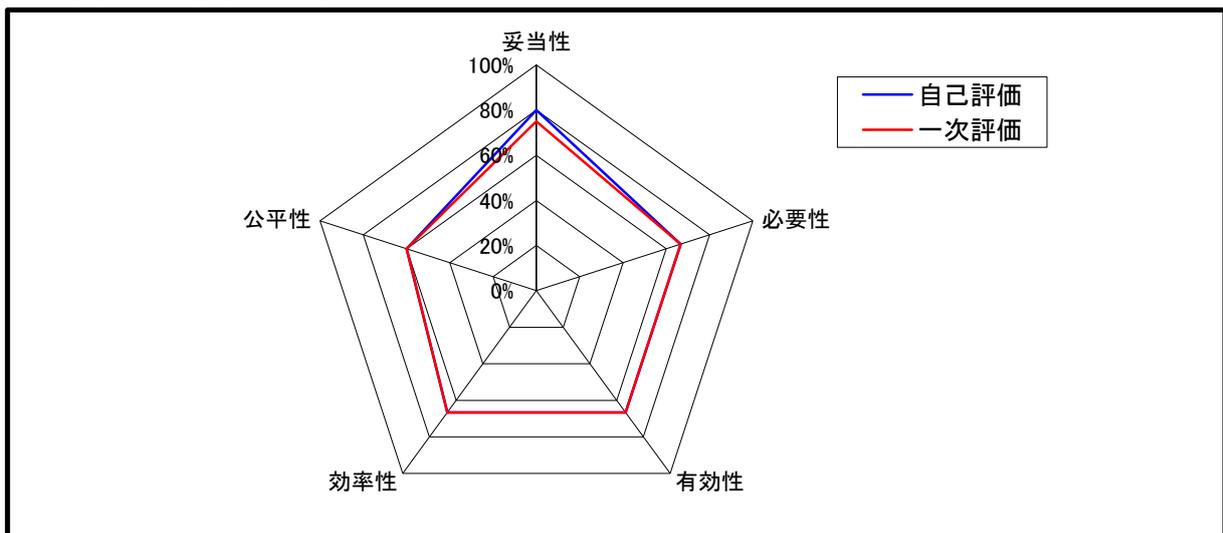


見直しの具体的内容
<input type="checkbox"/> 実施方法の工夫
<input type="checkbox"/> 事業の効率化
<input type="checkbox"/> 受益者負担の適正化
<input type="checkbox"/> 事業縮小
<input type="checkbox"/> その他

一次評価の理由(今後の方向性等について具体的に)

情報発信のツールとしては一定の成果は見受けられるが、目標の一つである、町政への参画意識を醸成するためには、現状以上の創意工夫が必要だと考える。そのため、庁内全体で協議を行い、改善や新たな取り組み等について検証を行う。

自己評価・一次評価の傾向



ACTION(評価・改善)

自己評価、一次評価の結果を踏まえ、実施体系の進捗状況と照らし合わせ評価を行う。

二次評価	評価者	川上 克彦
------	-----	-------

- 一次評価結果により、以下の点について良好と評価し、更なる事業推進を進める。

- 一次評価結果のとおり事業継続と判断する。

- 一次評価結果のとおり事業継続と判断するが、以下の課題を新たに追加する。

情報を公平に発信するために、配布方法等検討する必要がある。

- 一次評価は以下の点で問題がある又は判断されるため、一次評価の見直しを求める。

一次評価をやり直し、
月 日
までに事務局へ提出すること。



- 住民サービスに直結する主要事業のため、評価そのものを外部評価委員会に諮ることとする。

- 一次評価結果のとおり事業縮小と判断し、外部評価委員会に諮ることとする。

外部評価委員会で評価する。
月 日
開催予定



- 一次評価結果のとおり事業廃止と判断し、外部評価委員会に諮ることとする。

評価終了
 外部評価へ

ACTION(評価・改善)

自己評価、一次評価、二次評価の結果を踏まえ、実施体系の進捗状況と照らし合わせ評価を行う。

外部評価

今後の方向性
<input type="checkbox"/> A重点化
<input type="checkbox"/> B現状のまま維持
<input type="checkbox"/> C見直し
<input type="checkbox"/> D廃止
<input type="checkbox"/> E事業完了



見直しの具体的内容
<input type="checkbox"/> 実施方法の工夫
<input type="checkbox"/> 事業の効率化
<input type="checkbox"/> 受益者負担の適正化
<input type="checkbox"/> 事業縮小
<input type="checkbox"/> その他

評価	
----	--

外部評価委員の意見

--

経営者会議

経営者評価	
-------	--

今後の方向性
<input type="checkbox"/> A重点化
<input type="checkbox"/> B現状のまま維持
<input type="checkbox"/> C見直し
<input type="checkbox"/> D廃止
<input type="checkbox"/> E事業完了



見直しの具体的内容
<input type="checkbox"/> 実施方法の工夫
<input type="checkbox"/> 事業の効率化
<input type="checkbox"/> 受益者負担の適正化
<input type="checkbox"/> 事業縮小
<input type="checkbox"/> その他

評価	
----	--

経営者会議の評価

--

令和 3 年度予算要求事項(今後の取り組み)

--